

和歌山大学ソーラーカープロジェクト

広報ミッション

ミッション報告書

作成者：観光学部二回生 森脇瑠美
ミッションリーダー：観光学部二回生 森脇瑠美
ミッションメンバー：観光学部三回生 田倉江莉
観光学部一回生 河村芽依

1. はじめに

広報ミッションが立ち上げられたきっかけは、プロジェクトの予算だけでは賄いきれないものを自ら資金調達を行い、捻出していく必要があるという背景からである。

2. 目的

和歌山大学ソーラーカープロジェクトの知名度の向上、及び和歌山大学の知名度の向上を目的とする。

本ミッションは、和歌山県の地域住民や企業への広報活動を行い、科学普及やスポンサーの獲得を図るものである。

3. 目標

スポンサーの獲得

4. 活動内容

学内外のイベントへ参加し、地域の子どもたちに対する教育活動も行う。また参加企業へのアピールの場となる。

企業まわりに持参するパンフレット作り。

Facebook など SNS での積極的な宣伝。

5. 平成 27 年度の活動

① 11 月 15 日 公開体験学習

和歌山大学内シンボルゾーンにて行われた。ソーラーカーの展示とミニソーラーカーのラジコンで実際に子どもたちに遊んでもらうことで身の回りの科学に触れてもらい、科学やモノづくりの楽しさを伝えることができる。



② 11月21日、22日 Panasonic Living SHOWROOM 展示

和歌山市中之島にあるパナソニックリビングショールームで展示を行った。両日ともに普段、学生と関わる機会がない方、モノづくりというものと縁がない方、地元住民、多くの方々に地元和歌山の大学でこのようなプロジェクトがあるということを知ってもらえる機会となった。

地元企業の方々との交流ができ、我々に興味を示してくれたことが大きな進歩である。



③ 11月29日 和歌浦ベイマラソン with ジャズ

ベイマラソンの参加者を入り口でお見送りできる場所に展示。これから走る方、帰ってきた方、応援に来た方、足をとめ、話しかけてくれる方がとても多かった。「走る」というつながりのある者が集まっているためか、ソーラーカーについてや、国際レースなどよく見ている方が多く認知度はかなり上がった。

また、他府県のランナーとの交流もあり、和歌山の大学で学生が主体となり活動していることについて、面白いと話を聞いてくれる方も多かった。

運営の方にぜひ来年も着てもらいたいと声をかけてもらえたことが、この日多くの方に知ってもらえた結果あると感じた。



④ 12月13日 南紀熊野サテライト

ミニオープンキャンパスと名づけられたイベントにて、展示を行った。当日は地域住民、大学受験を控えた学生や、地元の中高生が多く集まり、同世代の人と交流ができる貴重な機会であった。



6. 活動結果

以上の積極的な広報活動により、興味を持ってくれた地元企業さんがスポンサーとなってくれることに決まった。目的である新規スポンサーの獲得が昨年度の大きな結果である。このことから、広報活動の重要性を改め、重ねてこの広報ミッションのあり方を考えるようになった。目標氏金額に近づいたが、少し足りない。レースで優勝するためには、これに満足せず、しっかりと安定していくために改善や経験を積み、知名度向上、スポンサーの獲得をこれからも目指していく。